

銀漢亭日録



伊藤伊那男

12月15日(火) ▼十四時、発行所「門」同人会へ貸し出し。あと、鳥居

真里子さん他五人店。店は「雛句会」十二人。そこへ野村證券時代の京都の同期生、東塚君他来店。「雛句会」メンバーの何人かと知り合いで盛り上がる。居合わせた松山さんは野村の兄弟会社・大和銀行だったので、ロンドン支店時代の共通の知人もいたようで、これまた盛り上がる。麒麟さん。

16日(水) ▼「三水会」五人。「春耕神保町句会」あと十二人。あと餃子屋。

17日(木) ▼「銀漢句会」あと二十三人、忘年会。伊那北の同期、丸山君等が五人。大王製紙の総務部長以下五人、忘年会のあと、来春入社予定の今泉礼奈(アルバイト)の顔を見に来店。

18日(金) ▼発行所「蕙句会」選句へ。あと七人忘年会。堀切克洋君帰国、「金星句会」へ。あと六人。皆川文弘さん来店。盤水先生の父上のこと、兄弟のことなど聞く。東塚君三人。

19日(土) ▼十二時半、鶴見駅。「銀漢」の年末吟行会。四十三名参加。總持寺見学。修行僧に一時半ほど案内してもらい、あと境内散策。十六時、横浜中華街。三句出して、句会までの間、松山、禪次、酔馬さんなどと「梅蘭」の焼きそばで紹興酒二本空けてしまう。隣の「揚州飯店」にて句会と忘年会。十九時まで。あと有志で「馬さんの店」。結局……ヘトヘト。

20日(日) ▼朝、豚汁大鍋一杯作る。今日、成城学園の親仲間、K建設の国領の別宅で忘年会。何と五百坪。七家族三十人。途中寝る。

漢の山道を歩いて高取城址へ向かう。城址は壮大な山城。その規模に圧倒される。城を下りるだけでも三キロほど。途中、阿波野青畝生家を探し、覗く。帰路の近鉄電車の中で何と！ 茨木和生先生とばったり会い、一同感激。十七時、「一条」にて句会。十九時半まで。あと「南柯」主幹・和田桃さんの店「アッジェ」。歌う。十数名。

28日(月) ▼六時起き、七時四十五分から、春日大社、南円堂、若草山など巡る。九時半「ガスト」で句会。最後まで残ったのが十五人。あと山下美佐さん他六人で京都・松尾大社に直行し、松尾山のご神体へ登拝。往復一時間位か。ご神体は磐座。「からすま京都ホテル」へ。町にてW女、E女と忘年会。生ガキ、雲子、ナマコ、刺身、コッペ蟹、出し巻き、かき揚げ、鯖寿司、グジ、雑炊。あと鴨川のほとりのバー。

29日(火) ▼快晴。蕪村終焉の地確認。信長が襲われた頃の本能寺(中京区油小路蛸薬師界隈)へ行くと前の家の村田茂雄さんという方が出て来て説明してくださる。『おこしやす京都』の著者。六角堂のへそ石、京都文化博物館(年末休館)、「イノダコーヒー三条店」。秀次一族惨殺の地・瑞泉寺。叡山鉄道にて三宅八幡宮。早良親王を祀る御霊神社。小野毛人墓。折しも時雨。金福寺・蕪村墓など。十六時過ぎ、「たつみ」にて小酌。「大丸百貨店」にて丸餅、鯉蕎麦、白味噌などを買ひ、錦市場を歩いていたらM&Mとばったり。ホテルで宅急便作り、家に送る。ホテル近くの酒場二軒ほど。二軒目の「古雅」鮎の山椒煮佳品。

30日(水) ▼六時起き。千本丸太町上ルの平安京大極殿跡などを散策。

21日(月) ▼店、「演劇人句会」八人。松山さん、真砂年、山崎祐子さん……。二十一時半、閉める。

22日(火) ▼「萩句会」選句へ。あと十一名、店にて忘年会。対馬康子さん、現俳協の教室のあと五名で来店など……。

23日(水) ▼二十五日までに「銀漢」二月号の原稿を仕上げなくてはならないが、ハウスキーパーの中根さんが「今日しかないんだから」と私の部屋の清掃。そうこうしているうちに杏さん一家が来て、昼から家族忘年会。十六時位に酔って寝てしまう。夜から巻き返し。

24日(木) ▼昨夜は深夜二時まで、今朝は昼まで、同人評、会員評、慧星集評と集中して書き上げる。これで奈良行きの目処立つ。店、クリスマスイブに用事のない面々十人程。クリスマスの題で二句。席題で二句の句会。二十二時閉店。

25日(金) ▼本年営業最終日。早めに店に入り掃除。何やかや年を惜しむ仲間が来てくれる。

26日(土) ▼七時半頃の新幹線。何と指定席の隣に朽木直さんが！ 新大阪から乗り継いで近鉄枚岡駅。河内一ノ宮・枚岡神社に参拝し、ここから暗峠越え。峠の茶屋で、車で来た朝妻力さんと合流。南生駒駅で降りて「ホテルフジタ奈良」へ。十七時、「蔵」二階にて句会二十三名。茨木和生先生差し入れの極上鮎鮓を、今年は朝妻さんに包丁を持参してもらい私がスライスする。五句、二句の句会。二十三時、倒れるように眠る。

27日(日) ▼目が覚めると七時。大慌てで準備。茶粥などの朝食を摂り、八時過ぎの近鉄にて壺阪山駅。タクシーで壺阪寺拝観。五百羅

戻って「ヴィヴィアン室町」へホテルを移動。恭仁京跡へ行こうとJRに乗るが、関西線と間違えて奈良線に乗車。それはそれでよし、と桃山で下車。明治天皇と昭憲皇太后の桃山御陵参拝。素晴らしい墓所。近くの乃木神社も。二〇三高地攻略の司令部の民家が移築されている。桃山城を外から。近くに桓武天皇陵墓もありお参り。帰路、伏見稻荷を覗くが、ものすごい人出。半分は中国人。町に戻ると十五時過ぎ。さて、今からやっている店は……「たつみ」で小酌。新京極に出ると「スタンド」がやっていたので寄る。錦市場を歩いて牡蠣の「大安」で小酌。二十二時過ぎには眠ってしまう。

31日(木) ▼五時半起床。京都について思いついたエッセイ二つほど書く。また既にかいたエッセイについてチェック、訂正など。大谷祖廟。牧野家の墓参。妻の分骨の地。西本願寺を訪ひ、一時間ほど。昼の新幹線で帰宅。郵便物の整理など。家族で酒盛り。紅白歌合戦。

1月1日(金) ▼「春耕賞」選評出し忘れており、朝、書いて投函。昼、おせち料理で新年の宴。伊勢「せきや」。酩酊して昼寝。杏さんと雅人(三人目の子)来る。雅人高熱にて英君の実家へ行けず二人だけこちらへ。年賀状整理。からすみの酒漬け終わり、干し始める。

2日(土) ▼十一時、家族で池上本門寺。初詣のポスターが宮澤の写真で、来年用の撮影のため。同行す。快晴。戻って年賀状の整理など。酒盛りをしてまた寝てしまう。まあ、正月である。